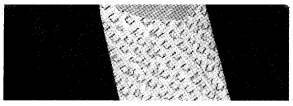
者の活躍示す

新会長に聞く

東北建設業青年会

開かれ、役員改選で新会長に渡部智（取締役）が就いた。女性会長は20年ぶり（十和田市・福萬組取締役副社長）し、女性後継者として活躍する姿を

山積している。人材の方々に対する。東北地方で行っている。を通じ、建設生・生徒の皆さんていく。建した現場の体験を企画し、触れて、えるような機会。このような学校の先生



方ではできない建設業ならではの取り組みになる。

――青年会だからこそできることは。

渡部 週休2日制やi―Construction、BIM／CIMへの取り組みなど、取り組まなくてはならない課題が多い。これらに対し、親会とは違うチャレンジができると思っている。インスタグラム、動画など若者向けのコンテンツを活用し、若い世代に届く言葉や方法を知っているのが青年会の強みだと思う。

――建設業界での女性の活躍について。

渡部 女性が建設業で働く環境は年々良くなっている。女性の登用を推進する施策を行政も行っており、資格取得にチャレンジする方が増えているようだ。事務職をされていた女性が現場に興味を持ち、実際に働く人もいる。現場ではなくとも、建設ディレクターとして現場を支える女性が増えていることも感じている。私もそうだったが、建設業界で働く女性に対して、無意識の偏見が今までは多かった。

――後継者問題について。

渡部 後継者の皆さんに伺うと、本当は家業を継ぐのが嫌でいったんは他業界に行ったものの、最後は責任感で戻ってこられた方ばかり。しかも、建設業を取り巻く環境が悪い時に引き継ぎ、大変な苦労をされている。3姉妹の長女だった私は、子どものころから何となく「自分が継がなければ」という責任感があり、大学卒業と同時に家業に入った。私のように娘が家業に入り、事務職や積算業務に携わるケースは多くとも、実際に後継者となるのはまだまだ少ない。私が前に出ることで、女性が経営者として頑張る姿を発信したい。中には娘に社長を継がせることをためらう人もいるだろうが、次の世代を担う女性後継者につながるよう、私は前に立っていきたい。

※　※　※

わたなべ・ともこ 1976年9月、福島県郡山市出身の48歳。桜美林大学国際学部を1999年3月に卒業すると同時に、家業の渡富建設に入社。2016年4月から取締役副社長を務め、19年12月に代表取締役に就いた。青年会の活動では、25年5月から福島県建設業青年会の会長を務めている。体力アップのために筋トレに励むかたわら、茶道で気分転換している。

代に現場を支える

局 改良技術事務所長に就任した 村 出 氏

、現場を支る部分もあるので官民連れる」ため、何でも言える組織づくりと情報の共有化が重要と考え「前向きなコミュニケーションをできる組織にしたい」と力強く。

◎……京都大学農学部農業工学科（当時）を卒業した1991年に農林

ICT施工や測量法など学ぶ

北農建 村整備協 青森で技術講習会

北農村整備建設協会（青森県五所川原市　齋藤彰浩会長）は14日と15日の2日間、五所川原市の青森県農業共済組合津軽支所で技術講習会（CPDS認定講習）を開催した。

講習会では、NPO法人・東北建設技術研究会（青森県弘前市　北村達雄理事長）の北村理事長らが講師を務め、初日は▽ICT施工と測量法の関連性▽ICT施工から学ぶ正誤例（法令違反）現場実例▽BIM／CIMモデル、発注者（国交省）へ提案した実例紹介、進行中の現場紹介―などについて動画を交えながら解説した。

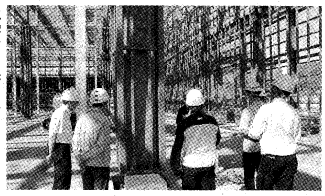
若手の技術力向上に寄与

JSCA北東 宮城県石巻市で現場見学会

日本建築構造技術者協会（JSCA）東北支部（成田諭支部長）は25日、若手会員向けの現場見学会を宮城県石巻市で開催した。見学会には会員企業から10人が参加し、他社が採用している工法や施工プロセス、現場の取り組みなどを見学した。

今回の見学会は、普段現場を見る機会が少ない構造設計の技術者に、現場の作業状況を理解してもらうため開催されたもの。高橋伸一副支部長（竹中工務店東北支店専任部長）は、今回の開催について「コロナ禍以降見学できる現場が少なくなり、活動が停滞していた。今回は若い設計者に現場を見てもらいたいという成田支部長の意向で企画された」と経緯を説明した。そして「設計者が現場のことを理解しないと、的外れな図面を作成してしまうことになる。この機会に現場を自分の目で確かめ、基本的な知識をしっかり身に付けてもらいたい」と期待した。

今回見学した現場は、丸本組（石巻市）が2024年9月から石巻市開成地内で施工している丸一阿部商店の加工場および冷蔵庫の新築現場。S造一部2階建て、敷地面積1万3682・82平方㍍、延床面積は7115・98平方㍍の規模。工期は26年5月29日までで、7月25日現在の進捗率は45㌫となっている。



見学する参加者

見学会には、設計を担当したカメイエンジニアリング設計監理課の井上卓思課長、丸本組建築課の桑原武司課長、高橋駿太工事主任も参加し、概要や作業内容の説明を行った。参加者たちは説明を聞きながら、設計の詳細な内容について積極的に質問して理解を深めていた。

当日の運営を担当した同支部の黒滝智広技術委員長（松下設計仙台支社設計部副部長兼支店長代理）は「特に構造設計専門の事務所には若い人材が多くなっているが、現場を見る機会はほとんどない場合が多い。そのような人たちにも積極的に参加してもらえるよう、今後もこのような見学会を企画していきたい」と話した。

東北支店 に4件 善事例発表会

優秀な発表者らに横井支店長（左）から表彰状が送られた

発注してはいけない」と強調し法令順守の徹底を訴えた。このほか▽UAVにおける法令順守▽MMS（モービルマッピングシステム）3次元計測技術の実例紹介▽深浅計測（シングルビーム）、AR（拡張現実）現場活用紹介▽UAVレーザー測量のための機種選択・飛行方法・罰則―などについて説明した。

講習会は、昨年に続き北農村整備建設協会の要請を受け、東北建設技術研究会が協力して開催。ことしは会員企業から延べ60人が参加。参加者はICT施工や測量法などについて理解を深めた。北村理事長は「人材育成支援などを目的に、今後も協会はじめ現場事務所、会社単位でもCPDS認定の技術講習会を東北各地で開催していく」と話した。

例のプロセスや考え方を参考にし、現場力、技術力の向上に活かしていただきたい」とあいさつした。

審査員は横井支店長など11人が務め、独創性や論理実証性、効果性、応用性、説得性、発表内容などを採点し、4件を優良賞に選んだ。優良賞の4件は次の通り（部門、会社名、グループ名、発表テーマの順）。

▽「土木」ヒロセ（高強度ヒロセブルー）＝高強度山留材と地盤改良を活用した山留削減事例▽「安全・担い手確保」鎌田工業（ZOS）＝垂直養生先行による資材落下防止対策▽「建築」矢田工業（いい橋をつくろう）＝ペデストリアンデッキ友司架設～愚直な青妻

令和7年度 東北防衛局優秀工事等顕彰

「東北防衛局優秀工事等顕彰」は、入札参加者の受注意欲を高め品質確保などを図ることを目的に実施している。
16回目となる今回は、令和6年度に完了した成績評定80点以上の工事44件・業務69件の中から、6件6社の工事と技術者を顕彰した。

顕彰者に向けたごあいさつ

東北防衛局　調達部長　吉田 秀嗣

令和7年度東北防衛局優秀工事等の顕彰、誠におめでとうございます。

今般の建設業界においては、技術者や員の高齢化や担い手の不足、資材調達の不安定化、業界を取り巻く環境も大きく変化しているところです。そのような中で、企業・技術者の皆さまにおかれては、厳しい諸条件のもと、良質な防衛施設の整備に向けて、その力を遺憾なく発揮され、工事を完遂されたことは、高く評価されるものです。

当局が発注する防衛施設の整備事業は、わが国の防衛力、そして安全保障の基盤となるものであり、建設業界のお力添えなくしては到底構築できるものではありません。建設業界の皆さまには、今後とも防衛施設行政にご理解いただくとともに、防衛施設の整備にお力添えいただけますようお願い申し上げます。

優秀工事 海自八戸外(5)宿舎改修建築工事
工事概要：（海自八戸地区）・宿舎A（RC-4延べ面積1,860㎡）内装改修および外壁改修　外2棟

明治12年創業
皆様に喜んでもらえる、良い仕事を
穂積建設工業株式会社
HOZUMI
〒031-0073　青森県八戸市売市3丁目2－16

優秀工事 海自八戸(4)鉄塔新設等建築その他工事
工事概要：（建築）・鉄塔A（H=約22m）新設　・鉄塔B（H=22m）新設　・鉄等C（H=約22m）新設　・鉄塔解体3基
（設備）・航空機進入灯等更新

健康で快適な生活文化を創造する
寺下建設株式会社
TERASHITA
本社／青森県八戸市大字長苗代字上中坪36番地1
TEL 0178-70-1234　FAX 0178-70-1112

優秀工事 装備下北(4)整備場新築等電気その他工事
工事概要：・整備場（S-1約760㎡）新設に伴う建物附帯
・耐震改修に伴う建物附帯2棟 本部庁舎外30棟 照明更新等
・詳細図等作成業務一式

「人と技術で世界の夢を叶える」
～働く人々の幸福を追求し社業発展と共に地域社会に貢献する～
株式会社ミワ電工
MIWA DENKO
ミワ・デン
代表取締役社長　島谷昌孝
本社　〒037-0017　青森県五所川原市大字漆川字袖掛153-14
TEL0173-35-4620　FAX0173-35-4639
営業本部　・　仙台営業所　・　六ヶ所営業所
01435